



# ユネスコスクール便り

令和2年4月22日

大牟田市ユネスコスクール

担当者通信

No.90

つながりを大切にし、  
かかわりを深める児童生徒の育成



## 大牟田のESDとSDGs

**ESDとは** ESDとは、Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)の略です。大牟田市では、平成24年1月に全ての市立の小・中・特別支援学校がユネスコスクールとなりました。平成30年度からは三池工業高等学校が加わり、市を挙げてESDを推進しています。各学校が、環境、エネルギー、福祉、世界遺産、防災などのテーマで特色ある取組を展開し、近年は、海洋教育に複数の学校で取り組んだり、世界遺産のあるまちづくりに小・中・高等学校の子ども達が協力して取り組んだりするなどの学校間のつながりを生かした取組も見られます。

大牟田市がESDに取り組むようになったのは、市の歩みや現状と深いかかわりがあります。大牟田市は、かつて石炭産業で栄えたまちですが、エネルギー政策の転換によって炭鉱が閉山し、人口減少と少子高齢化が進み、持続可能なまちづくりが課題となりました。こうしたまちづくりの方向性とユネスコスクールの理念が合致し、各学校がユネスコスクールに加盟し、ESD(持続可能な開発のための教育)に取り組むことになりました。各学校のESDには、日本の近代化を支えた炭鉱の歴史、公害の克服、中国大同市をはじめとする海外との国際交流、高齢者が安心して暮らせる福祉のまちづくりなど、まちの歩みと現状が反映されているのです。



東京大学で海洋教育の成果を発表する子ども

**SDGsとは** SDGsは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略です。SDGsは、地球規模の問題を2030年までに解決するために国連で採択された17の目標です。大牟田市のユネスコスクールは、それぞれがSDGsを目標に掲げてESDを推進しています。「大牟田版SDGs」には、「誰一人としてとり残さない」という理念に基づく本市のSDGsへの取組をまとめています。「SDGsのおおむたマップ」は、学校の所在地、掲げているSDGs、その達成のための取組がひと目で分かるマップです。令和元年度、大牟田市は、内閣府がSDGsへの優れた取組を行う都市として期待する「SDGs未来都市」に選定されました。子ども達がまちづくりの主体者として、学びを生かして行動することが期待され、SDGs/ESDへの取組の一層の充実を図ることが望まれます。



SDGsのおおむたマップ

## 大牟田市ユネスコスクール・SDGs/ESD子どもサミット

大牟田市では、子ども達のESDの取組を交流する場として、毎年1月に、「大牟田市ユネスコスクール子どもサミット」を開催しています。子どもサミットには、大牟田市内の学校はもとより、宮崎県、愛媛県、島根県、宮城県などからも参加があり、年々、交流の広がりや内容の充実を見せ、発展してきました。第8回となった令和元年度は、「大牟田市ユネスコスクール・SDGs/ESD子どもサミット」と名称も新たに、達成を目指すSDGsをより明確にした各校の実践発表が行われました。



大牟田市ユネスコスクール・ESD/SDGs子どもサミット

## ESDを推進する人材の育成

大牟田市では、ESDを推進する人材の育成にも力を入れています。各学校にはユネスコスクール担当者が配置され、大牟田市教育委員会、校長会、教頭会と連携して、市内行事の運営、各校のESDのカリキュラム・マネジメントや校内研修の推進に大きな役割を果たしています。「ユネスコスクール・ESD研修会 in 大牟田」や「世界遺産学習・ESD研修会」などの研修会では、大学の先生の講話や全国各地の実践を聞くことができ、ESDの推進に必要な理念や推進していく意義、指導法等を学ぶことができます。



ユネスコスクール・ESD研修会 in 大牟田

このように大牟田市では、未来を拓く子ども達の主体的な学びを実現するためのSDGs/ESDに各学校が取り組んでいます。学校への支援体制も、研修の機会も充実しています。大牟田市に新しくお見えになった先生方も一緒に学び、これからの時代の教育について考え、ともに実践していきましょう。

